

宗像市は今年で10周年

広報むなかた

むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページアドレス
<http://www.city.munakata.lg.jp/>
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷 1-1-1
代表：総務課 ☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集：秘書政策課広報・報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行

今月の紙面から

平成25年4月15日号

- 宗像市空き家等の適正管理に関する条例改正(案)、「パブリックコメント」 2
- 海外専門家から高い評価、「ふるさとから世界遺産を！」 3
- 将来にも役立つマナーは一生もの、「子どもの未来が育つまち」 14



クイズ形式でがん予防「健康むなかた21」(13ページ)

- 色定法師と中世博多貿易商人、「時間旅行ムナカタ」 4
- これってどうなの？ 車での通学、「子どもにやさしいまちむなかた」 5
- 男女共同参画ゆいネット宗像です、「メッセージ」 9
- ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸(けい)がん予防ワクチンが定期予防接種になりました 10
- 大島の大自然を堪能 世界遺産候補地めぐり、「島だより」 11
- 巧妙化する劇場型勧誘「買え買え詐欺」にご注意！、「転ばぬ先の杖」 12

1~3	3~5	6~7	8	9~12	13	14
行政	学びの里	環境	カレンダー	お知らせ	健康・福祉	子どもの未来

くるま座ミーティングでの意見交換会の様子



今回は「知って生かそう市民力」。行政、コミュニティ、市民活動団体による活動事例の発表と意見交換を実施しました。

最初に、入庁3年目の市職員が、コミュニティ研修の報告。現場での気づきや学びが、今後の職員としての仕事に生かされるよう、市民から

谷井博美市長や韓国金海市の親善大使、実行委員や子どもたちが点火した灯ろうは、趣向を凝らしたオブジェや被災地へ



祈りを込めて飾られた広場一面の灯ろう

歌を参加者と一緒に歌うなど、会場が一体となりました。



多くの人でにぎわった展示ブース

「多世代が交流できるまじりに来て良かった」などの感想を聞くことができました。

つながるきっかけづくり

「くるま座ミーティング」

今回は、52の団体と市内全12地区のコミュニティ運営協議会で実行委員会を結成。入庁1年目の市職員12人も実行委員に加わり、市民との協

絆をつなげた「灯ろうイベント」

最後は、むなかた男女共同参画協議会の「出前まいまいカフェ」。誰もが地域で活躍するにはどうすればよいか、会場からコミュニティの現状も報告され、地域での男女

市民団体行政

つなげる、つながる

メイトム春まつり



市民活動団体やコミュニティ運営協議会などの活動を知ってもらうことと、団体同士の交流を深めることを目的に、第4回市民活動交流まつり「メイトム春まつり」が3月9日と同10日、メイトム宗像で開催されました。

問い合わせ先
コミュニティ・協働推進課市民活動係
☎(36)0311



金海市の親善大使も春まつりに参加

たにい ブログ・フォト日記

広報紙15日号で毎月、市HP <http://www.city.munakata.lg.jp/> に掲載している市長ブログを紹介しています。

問い合わせ先 秘書政策課秘書担当 ☎(36)0890



松枝がたくさん落ちていて拾うのが大変でした。3月3日(日)、松枝拾いに行ってきました。玄海海岸地帯に広がるさつき松原には、約20万本の松があります。しかし、5年間で約2万1千本以上の松が松くい虫によって枯れ、被害に悩まされています。

「マツノマダラカミキリ」という虫によって運ばれた小さな線虫が、松の中に入って松を枯らしているのです。松くい虫の住みかとなる松の枝を拾い、外に運び出すことで、松枯れ被害を抑制することが出来ます。当日は約600人に参加してもらい、たくさん落ちていた松枝も、みなさんの協力できれいになりました。市としても、日本の白砂青松百選に選ばれたさつき松原が「市民の癒やしの空間」であり続けるようにしたいと考えています。